

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 154 号 2011. 2. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

みかんジュースで体力回復

葛飾区 小川 忠宏



昨年の 11 月下旬から 6 日間、ものすごい下痢が続きました。食事のものを通らず、だんだん顔色も悪くなり、声も出なくなりました。体は力が入らず、歩くのがやっとなりました。お腹もへりません。食べ物のおいしさがなくなり、食べる気にはなりません。

そんなとき、市川生産グループから「自然のみかんジュース」を分けてもらいました。一口飲んだら、のどを通り、ものすごく、おいしく頂くことができ、あっという間に一本飲みました。自然農法のみかんジュースだけ口にするのができました。そして下痢も治まり、体力もついてきました。

改めて自然農法のみかんジュースは「奇跡のジュース」だと思いました。



自然のみかで飛びはねるほど元気に

江戸川区 尾崎 早織



5 歳になる長女は、今までに 2 回ほど、熱を出して、ひきつけを起こしています。そのときにかぎらず、熱を出したときは、いつも市川生産グループの自然農法のみかんで、元気を頂いています。

長女が 1 歳のときに起こしたひきつけは、生死をさまようような大変なものでした。何も口にするのができずにいたのですが、そのとき、自然農法のみかんをしぼり、ストローで口に流し込んであげると、飲むことができました。すると、ひきつけが治まり、少し眠ることもでき、それから、みるみる回復していきました。

今年 1 月の終わりごろにも、長女は熱を出しました。熱はそれほど高くはなかったのですが、元気がなく、ぐったりしていました。あまり食欲もなく、どうしようかと思っていたとき、ちょうど自然農法のみかんを頂き、そのみかんを見るなり、長女は「食べてもいい？」と聞いてきました。「いいよ」と言うと、もくもくと食べはじめたのです。ひとつをペロリと食べてしまい、私の食べかけの半分もおいしそうに食べてしまいました。すると、さっきまでの元気のなさはどこへやら。顔に赤みをおび、表情が笑顔になり、長女は飛びはねるほど元気になったのです。

自然農法のみかんのすごさを、まざまざと見せられた出来事でした。これからも「奇跡のみかん」を大切に頂きます。



自然農法はこれだ！と実践

我孫子市 塚田 佳代



自然農法を始めてから 15 年になりますが、まだまだ心は一年生です。始めたきっかけは、芋を作っても、肥料が入ると葉ばかり茂り、良いものが出来ない、しかし自然農法では、太陽と水と土の力で良いものが作れる、「岡田茂吉師の説く自然農法はこれだ！」と実感したこと、そして「安全でおいしい本物の野菜を食べたい」「人にも食べてもらいたい」と思ったことからです。

4 年ほど前から、自然農法の芋を種にして、20~30 本くらい植えています。購入した市販の苗からは、一本に 2、3 個、自然農法の種からは、小ぶりですが 5~6 個、購入苗と比べ、甘くておいしい芋が収穫できます。豆類も土地に合っているのか、

自家採種のキヌサヤ、ソラマメ、ササゲなどよく出来、人にお届けすると、「甘くておいしいね」と喜ばれ、幸せな気持ちになり、またお届けしたくなります。トマトはマルチでビニールの屋根を作り、病気にもか

からず、良いものを作れるようになりました。夏野菜の収穫は朝 5 時、朝食はトマト食べ放題でパワーをつけて出勤です。

最近、会社で出るお弁当の野菜を口にしても食べられず、具合の悪いときは、会社のお茶さえも、のどを通らなくなっているようで、体が本物の作物しか受け付けないようです。



今回、畑にタマネギを 100 本植え、マルチをかけてみました。今までタマネギを作っても、ピンポン玉くらいのものがほとんどだったので、少しでも良いものと思い、いろいろ工夫し、一步一步前進したいと思っています。

畑にいるときは、心も落ち着き、時間の過ぎるのを忘れてしまいます。作物の育ち具合を見たり、収穫できたりしたときの喜びは格別です。主人の協力があるからこそ、60 坪の畑で自然農法を続けられています。主人にも感謝しています。



農産展に出品

TOREK 自然農法 定例会・作付会合



2 月 10 日(木)、「自然農法定例会」が八王子にて行われました。この会合は毎月 10 日に行われ、主に農産展や頒布会の企画を行い、それから話は発展し、将来の TOREK 自然農法の夢、あり方についても自由に意見を出し合います。

集まるスタッフは、自然農法普及に特別な想いを持つ面々です。様々なトークが繰り広げられます。とは言っても、自然農法の普及は現状として、まだまだ容易ではありませんので、それら思いがすぐ実現するというものではありませんが、大切な話し合いであることは間違いなく、将来が楽しみに思えます。

また 2 月 20 日(日)には、今年度の各行事や頒布会などで使用、販売する自然農法の作物について、生産者やスタッフで話し合う「作付会合」がありました。

生産者は、専業の方、グループで取り組んでいる方、個人でされている方など、さまざまですが、「喜んでくれる人がいるので、続けていこうと思える」「作物と向き合って、いいものを提供できるようにしたい」「種は宝物。失敗してもあきらめず、自家採種に取り組めます」など、熱い想いを聞くことができました。

販売を担う方からも、自然農法の食材のすごさを感じる、自然農法の素晴らしさを広く伝える場という気持ちで、頒布会や行事に取り組む、などの話が出ていました。



お知らせ

- 自然農法勉強会 3 月 24 日(木) 午前の部 10:30~ 午後の部 19:00~ (別院講堂)
- 自然農法頒布会 2 月 27 日(日) 東中野会場 10:00~ (売り切れ次第終了)
3 月 16 日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00~ (売り切れ次第終了)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

生産者の方々が直接販売されます。

3 月 3 日 於：伊都能売会館

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- きじま平自然農産：黒豆納豆、きじま弁当 ● 飯塚農園：みそ
- 長柄山自然農園：卵、くんせい、しいたけ ● 中島農園：ふきのとう
- ジョリフィーユ：ひなまつりクッキー、シュークリーム、カスタードプリン、マドレーヌ ほか

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp